

社協だより

かしわざき

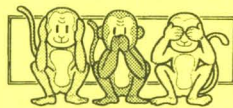
柏崎地区社会福祉協議会

発行者
 柏崎地区社会福祉協議会
 会長 中村 金 司
 さいたま市岩槻区真福寺365
 事務局長 桑原 見知子
 広報担当 森田 幸雄
 TEL・FAX 048-797-2911



2016年新春を迎え

お喜び申し上げます



柏崎地区社会福祉協議会会長 中村 金 司

昨年は、各種団体の皆さまのご協力、ご尽力を得ながらスタッフ共々丸となり事業を行いました。4月には体育振興会と共に和土住宅公園までの歩け歩け大会、10月には、柏崎地区体育祭及び槻寿苑での柏崎地区敬老会を開催いたしました。敬老会では米寿のお祝いのお花束贈呈を行い、長生きの秘訣などをインタビューさせていただき盛会のうちに終了する事が出来ました。

歳末助け合い、また、各支会にてのサロン活動と各種の事業も展開致しました。

本年も各種団体、自治会の皆様、スタッフ一同と地域福祉の向上に寄与してまいります。ご協力ご尽力をお願いし年頭のご挨拶といたします。

地区社協行事のいろいろ

平成27年度 敬老祝賀会

10月17日(土)老人福祉センター「槻寿苑」で敬老会を開催、181名の方が参加されました。今年の最高齢参加者は浮谷市営の鶴島フヂさん98歳でした。米寿は加倉2区の中村時子さん、加倉3区の佐々木正さん、加倉3区の堀江光子さん、柏崎の清水よねさん、横根の野口友二さん、浮谷下の山口もとさんの6名。中村会長より花束の贈呈で祝福されました。このあと座りきりの体ほぐしを兼ねて全員参加で隣の人へのポー



中村会長より祝福の花束贈呈



最高齢参加者 鶴島さん



中村さん 佐々木さん 堀江さん 清水さん 野口さん 山口さん

ル送り遊びで体を動かしたところで早めの昼食となり懇親を深めました。

午後の部は「さざんかの会」10名による大正琴の演奏から始まりました。何とも言えない哀愁を帯びた心にしみる音色に皆さん聞きほれていました。そして琴を伴奏に数曲合唱しました。次はガラッと変わって「ダイヤモンドKIDS」によるキッズダンスです。幼稚



さざんかの会の皆さん



ダイヤモンドKIDS

園生を含む小学校6年生までの10数名が3グループに分かれ、それぞれが軽快な音楽に合わせて目まぐるしく体を動かすダンスを披露、丁度、孫、ひ孫にあたる子供たちの見事さに拍手喝采が送られました。最後は「いわつつfull」による日頃の生活

注意を含めた寸劇やコントで終わりました。

なお、今年も目白大学の毛束忠良先生が4名の学生さんと一緒に社協スタッフの一員として参加活動してくれました。

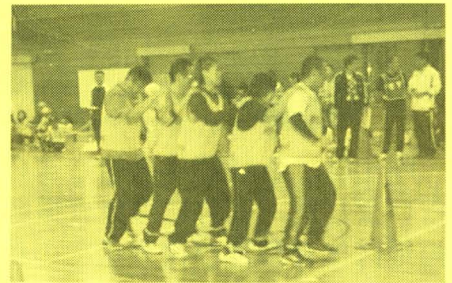
岩槻区民体育祭 第24回柏崎地区運動会

平成27年10月11日(日)あいにくの雨のため会場は柏陽中学体育館で開催されました。競技スペースを囲むように窓際に各自治会が陣取り、



最後に全員でジャンケンポン大会

予定どおり開始。手狭な中



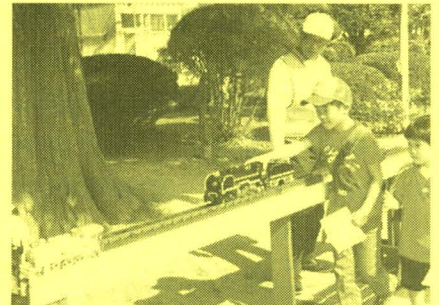
いっちにい いっちにい

で十分に実力を発揮できなかった人もいますが、それなりに全員全力で頑張りました。室内のため声援の声が体育館内に響き、臨場感満点の競技が続きました。昼時には柏陽中学校

吹奏楽部の見事な演奏、アンコールも起こるほどでした。競技種目を室内スペースに合わせ適宜変更したりする体育振興会の皆さまの判断の良さに感心すると共に、校舎1階の廊下やエントランスを解放して頂いた柏陽中学校に感謝いたします。なお、自治会対抗は優勝「真福寺」2位「横根上」3位「柏崎」となりそれぞれ表彰、副賞の景品を頂きました。

柏崎地区地域ふれあいサロン

平成27年10月24日(土)柏崎小学校校庭で「昔遊び・ゲーム」が行われました。当日は、柏崎小学校バザーも開催され大勢の家族連れが集まり、グラウンドに用意された竹馬、けん玉、輪投げなどいろいろなゲームに子供たちが夢中になって遊ぶ姿をやさしく見守りました。午後はバザーで目当ての品を手に入れ、子供はゲームの景品やガス風船をもらって大喜びの1日でした。



模型の汽車コーナー

赤い羽根街頭募金

平成27年10月1日(木)岩槻駅前赤い羽根共同募金運動を行いました。「社会福祉法人埼玉県共同募金会さいたま市岩槻区支会」の要請を受け30名ほどが集まりました。柏崎地区社協からは中村金司会長はじめ、民生委員3名が参加、「ご協力お願いします」と声掛けし、募金協力をお願いしました。集まった募金は社会福祉関係の団体に配分されます。



“ありがとうございます”

平成27年歳末助け合い援護事業

柏崎地区社協は今年も歳末助け合い援護事業を行いました。対象者は65歳以上の在宅寝たきり高齢者、身体・知的障害者には支援金を、70歳以上の独り暮らしの方及び75歳以上の高齢者のみ世帯の方には正月用品をご希望された方にお届けしました。支援金は66名、お正月用品は140名でした。

各自治会のふれあいサロン活動

加倉第1区ふれあいサロン 平成27年7月7日

7月は恒例の七夕まつりから始まり受付で短冊をもらい各自願い事を書き笹飾りを作りました。

メーンは元岩槻市教育長の内田茂氏による紙芝居です。内田先生は各区サロンでおなじみだと思います。加倉1区も1度お願いした事がありますが、もう1度聞きたいという声に快く承諾していただき2度目の講演となりました。演目は“浄安寺の稚児桜”と川通地区に伝わるお坊さんと



名調子に聴き惚れる参加者

村人の交流のお話でした。相変わらずの名調子に皆さん引き込まれ聞いていました。先生は岩槻に伝わる伝承や言い伝えを掘り起し取材し、紙芝居を手作りしているそうで、今も新しい紙芝居を制作中だそうです。



難しいわね どこだったかしら？

次は“絵合わせゲーム”というメンコ型の顔絵を裏返しにしてめくっては合わせる遊びで記憶の脳トレにうってつけです(トランプの神経衰弱と同じ)。一番

多くとった人には景品が出ました。昼食は役員さんたち手造りのカレーライスを食べたあと、なつかしの童謡を数曲歌って楽しい時間を過ごしました。

真福寺「親子三代ふれあいサロン」 平成27年8月2日



公民館に集まってお食事

平成27年8月2日 真福寺公民館や久伊豆神社境内には食べ物や飲み物コーナー、遊びコーナー等10店近くが出店され、お祭りの雰囲気満点。役員さん、父兄の皆さんは汗だくで対応に大忙しでした。



うまくすくえるかな？

開始時間前には待ちかねた子供たちが早くも列を作り、時間繰り上げでゲームを始める次第。目当ての色のヨーヨーをゲットした女の子は満面の笑み、ボールすくいでは色違いのアヒルをすくった子は自慢顔。それぞれ皆がいっぱいの景品を手に満足顔でした。7月から続く猛暑はこの日も容赦なく照り付け、会館内に避難し食事をする家族も多く、小さな子がいっぱいいるため桑原貞子(85

歳)さんは「こういう子供たちの姿を見るのは本当に心を和ませてくれる」と目を細め、また、「今日は暑すぎるので参加をためらった人もいるのか少々すくないかな?」と感想を話してくれました。

原町ふれあいラジオ体操 平成27年8月16日

そろそろ夏休みも終わりに近づくと各地で子供たちのラジオ体操集会が始まる頃ですが、原町では高齢者を対象にふれあいサロンとして8月10日～16日まで原町集会所前で毎朝6時30分からラジオ体操を行いました。社協の尾崎幸子さんや勝山恵美さん達の応援を得て「出席カード」を手作りし、飲み物の準備、安全監視等万全を期した結果、毎日30名近くが集まり、ラジオから流れる第1体操に合わせ軽快に体を動かしました。



大きく背伸びをして!

この後、柿沼民生委員の指導で“太極拳”のゆったりした動作に合わせ10分ほど体をほぐしました。今日は最終日、胸からかけた出席カードにきれいなシールを張ってもらい、田中泰之自治会長から参加賞を頂きました。柿沼さんは「毎日無理せずに続ける事が大事です。」と話した。

加倉第2区ふれあいサロン 平成27年9月12日



違う指を動かすのは難しいね

午前10時から加倉公民館でふれあいサロンを開きました。2区は“のど自慢”の人が多いため、これまで「カラオケ大会」を主にサロンを開催しており、今回は始めに同区在住の平島則子インストラクターの指導で「健康体操」を行いました。座ったまま出来るよう両手の違う指を動かす脳トレーニングから始まり軽いストレッチ運動など30分位行いました。昼食、歓談を挟んで午後の部は「ビンゴゲーム」。早くもビンゴに当たる人やなかなか当たらない人と悲喜こもごも。しかし全員景品を頂き終了。この後は恒例の“カラオケ”の時間。一人一曲に限り受付、次々と予約が入り入力係の尾嶋民生委員は大忙し、結局3時半ごろまで続きお開きとなりました。

◎各自治会の「ふれあいサロン」について

紙面に載せた「ふれあいサロン」はほんの一部であって、各自治会では毎回趣向をこらして随時行っています。回覧板等でお知らせがありますので、今まで参加されなかった方も一度参加され楽しいひと時を過ごしませんか?

社協事務所開所時間 月曜日～金曜日(土日祝祭日休み)
10時～12時・13時～16時

TEL・FAX 048-797-2911 地域福祉コーディネーター 倉田 真由美